

それ行け代陽っ子

八代市立代陽小学校学校便り

令和5年2月17日（金）発行【第15号】

3年生が「昔の道具」調べを行いました

3年生が、昔の生活について調べるために、市立博物館の県学や地域の方々への聞き取りを行いました。

自分たちが生まれる前の町の様子や子供たちの遊びなどについて知り、現在との違いに驚いていました。また、昔の代陽小学校の様子についても話を聞くことができ、改めて、自分たちの学校に対する愛着が深められたのではないかと思います。

今回の活動において、蒲生コーディネーター、婦人会の方々など、多くの地域の方々にお世話になりました。ありがとうございました。



令和4年度 熊本県（八代市）学力・学習状況調査結果より

12月に行われた熊本県（八代市）学力・学習状況調査の結果が出ました。個人票及び「i-check（アイ・チェック）」シートにつきましては、2月10日（金）に配付を終えていますので、すでにご覧いただけたことと思います。

今年度は、2～4年生が国語と算数の2教科、5、6年生は社会と理科を加えた4教科で、本調査を実施しました。ほぼ全ての学年、教科において、「標準スコア」（全国の正答率を50としたときの換算値）が50を上回りました。特に、算数は全学年で全国の正答率を上回っており、良好な結果でした。各教科の観点ごとの結果を見ても、全ての項目で「目標値を上回っている」「目標値と同程度」となっており、「下回っている」項目はありませんでした。今後は、学級ごとに結果分析を行い、課題が見られた部分を補うための対策を行っていきます。

学習状況に関する質問紙調査（i-check）では、八代市内の学校で重点的に取り組む項目「授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいたか（主体的な学び）」「学校生活の中で、何回くらい自分の意見を発表したり、先生の質問に答えたりしているか（発信力）」「学校の授業以外で、週に何日くらい勉強しているか（学習意欲）」「クラスの人々がふざけたり、おしゃべりをしたりして、授業に集中できないことがあるか（学級の規範意識）」に対し、どの学年においても昨年度の同調査から大きな改善が見られました。特に、「学習習慣」に関する質問では、回答した全学年が全国値を上回っており、今回の学力にも表れていました。この結果から児童一人一人の状況を見極め、学級指導に生かしていきます。

SNSの使用に関して

最近、飲食店での迷惑行為がSNSを通じて拡散され、大きな社会問題となっています。企業側が厳しく対応する姿勢を示しているにも関わらず、類似の事例が後を絶ちません。報道によると、ある迷惑動画は親しい間柄の人物にしか配信していないものが、意図せず多くの人に広がっていったそうです。

「心のアンケート」の結果によると、本校の児童の情報通信機器（スマホ、ゲーム機など）の所持率は、全校で76%でした。一方、機器を所持している児童の内、「使用のルールを家庭で決めている」と答えた割合は、3～6年で23%にとどまりました。

匿名性が高いことや相手が目の前にいないことなどから、普段は口にはできないことを、SNSには簡単に投稿する人がいます。一度世に出たデジタル情報は世界中に広がり、決して消えることはありません。これからの子供たちに、デジタル情報との正しい向き合い方を指導していく必要性を強く感じています。ご家庭におかれましても、適切なルールの設定など、情報通信機器の正しい使い方をご指導ください。

図書を寄贈いただきました

本校の学校運営協議会の委員でもあられる赤城義晋様より、図書を寄贈していただきました。この場をお借りして、御礼申し上げます。

本校の児童は、読書が好きな人が多く、学年ごとに定められた年間読書目標冊数達成（低学年100冊、中学年80冊、高学年60冊）を目指す「ハッピーブック運動」の達成率が2月中旬の時点で77%を超えています。

今回、新たに購入させていただく本との出会いを通して、子供たちの心がさらに豊かになっていくことを願っています。

台湾バナナの寄贈について

学校法人「神戸学園グループ」様より市内の全小学校、八代支援学校の児童・生徒及び教職員に対し、台湾バナナを寄贈いただきました。

21日（火）に、一人1本ずつ持ち帰させます。各ご家庭で、台湾バナナの風味をお楽しみ下さい。

